

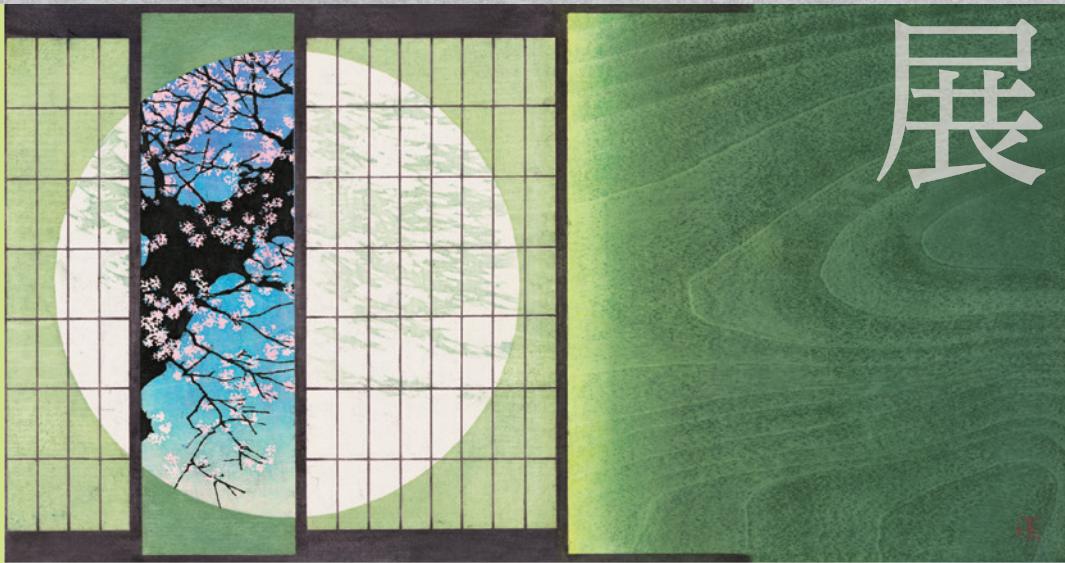
# KOH KOJIMA

# TSUZEN NAKAJIMA

現代の浮世絵師とよばれた男



鬼才の版画家とよばれた男



# 小島功・中島通善 現代の浮世絵展

## 二大巨頭夢の競演

弘前市立百石町展示館

青森県弘前市百石町3-2 TEL: 0172-31-7600

2023年4月12日(水)～16日(日)  
10:00～18:00(初日13時開場、最終日15時閉場)

小島功 (こじまこう)

昭和から平成にかけてのナンセンス漫画おとな漫画のオピニオン的存在。代表作は“ヒゲとボイン”“仙人部落”など多数。また、日本酒メーカーの黄桜のカッパーでも馴染み深い。

中島通善 (なかじまつうぜん)

木版画家。版木画と名付けた自画自刻、自摺の木目を摺り出す独自の技法を確立。パリ最高画壇、SNBAにて金賞受賞ほか受賞歴多数、SNBA正会員。



# 現代の浮世絵展

現代の浮世絵師とよばれた男、  
鬼才の版画家とよばれた男、二大巨頭夢の競演

日本の漫画界の重鎮「小島功」と、フランスの芸術界で認められた版画家「中島通善」。この2人が初めてコラボした初の展覧会が、弘前の文化財に指定されている『百石町展示館』にて開催されます。現代の浮世絵と呼ぶにふさわしい2人の作品が、趣のある歴史的な空間に展示されます。



小島 功（こじまこう）

昭和から平成にかけてのナンセンス漫画おとな漫画のオピニオン的存在。  
代表作は“ヒゲとボイン”“仙人部落”など多数。また、日本酒メーカーの黄桜のカッパでも馴染み深い。



中島 通善（なかじまつうぜん）

木版画家。版木画と名付けた自画自刻、自摺の木目を摺り出す独自の技法を確立。パリ最高画壇、SNBAにて金賞受賞ほか受賞歴多数、SNBA正会員。

1928年東京都台東区生まれ。終戦と同時に漫画家としてプロデビューする。1964年には漫画家協会（現在は公益社団法人）の設立に尽力し、自らも四代目の理事長となり晩年は名誉会長に就任する。1974年からは黄桜の「カッパ」デザインを漫画家の清水崑から引き継ぎ、妖艶なカッパのデザインが脚光を浴び、テレビのCMなど長きにわたり放映される。1984年から始まった下呂温泉の観光PRポスターの制作も2014年まで30年にわたり続いた。週刊アサヒ芸能で1956年から没年の2015年まで連載が続いた『仙人部落』は連載回数2861回を数え、単一作家の漫画連載としては当時の最長記録だった。小島功の作品は「漫画家一の流麗な線描」と評され、どれも圧倒的なエネルギーに満ち溢れている。2015年4月逝去。享年87歳。

『版木画』とは「版木の彫りと摺りがつくる画」といった意味で、自らが独自に編み出した木版画に付けた名称。『浮世絵木版』と同じ道具と材料を使った手仕事で、下絵から彫り・摺りまで全て自分で行っている。木目を出した透明感のある摺りが最も大きな違いである。2011年、作品がフランスのサロン、ソシエテ・ナショナル・デ・ボザールに招かれ、ルーブル美術館カルセール・ド・ルーブルに展覧され、銀賞を受賞する。長い間ヨーロッパでは、版画を他の絵画より一段低く見られていたが、この受賞により版画界においても大きな影響を与えた。版木画の魅力は、肉筆画や他の版画では表現できない版木を摺って初めて出る平面にある。手法も題材も日本の気候・風土・歴史に育まれた日本ならではの作品である。

令和5年4月12日～16日

10:00～18:00（初日13:00開場、最終日15:00閉場）

弘前市立百石町展示館

青森県弘前市百石町3-2 TEL：0172-31-7600

〔主催〕株式会社コオプロ / 有限会社ティー・エー・シー

入場  
無料